



竹原市長
吉田 基

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、現在我が国は、人口減少の時代を迎え、どの自治体においても、少子・高齢化に対応し、まちの活力を維持していくことが大きな課題となっております。

そのような現状の中で、昨年、本市では、子育て・教育環境の整備充実、市民の安全・安心向上のための緊急時・災害時におけるハード・ソフト両面のシステム構築、更なる交流人口・定住人口の増加に向けた商工観光振興や就職支援など様々な取組を進めてまいりました。

主なものとしては、竹原工業流通団地への大規模閉鎖型植物工場の誘致をはじめ、広島県等の関係機関と協力して、新たな企業誘致の実現に取り組ましました。

また、長年の懸案となっていた老朽化の著しい市庁舎等の移転問題につきましては、移転先として予定しているたけはら合同ビルに区分所有権を有する竹原商工会議所と移転に向けての合意に至り、公共施設の再配置に向けて大きな一歩を踏み出しました。本市の活性化に向けた様々な取組が、徐々にではありますが、前進し始めた年であったと感じているところです。

本年、竹原市は市制施行60周年を迎えます。急激に変化する社会情勢に柔軟に対応できる先見性と豊かな発想力、そしてスピード感をもって、市民の皆様が住みよさを実感できる竹原市となるよう取り組んでまいりますので、本年も、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市長・市議会議長より 市民の皆様へ
新年のごあいさつ



竹原市議会議長
道法 知江

謹んで新年のご祝辞を申し上げます。

皆様方には希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

本市におきましては、昨年は観光資源の発掘・企業誘致・庁舎移転問題等、一定に成果が見えた一年であったと思います。しかしながら、人口減少や高齢化などの社会問題がある中において、持続可能な都市再生に向けた基盤構築のためには、今後更なる課題に挑戦し続けなければなりません。

本年は第5次総合計画の最終年度となりますが、これまでの成果と課題を検証し、次期総合計画策定に向け、理事者と議会が一丸となって取り組んでいけるよう鋭意努力をまいります。

また、昨年の大分県や長野県などにおける地震、九州北部の

豪雨災害など、気候変動や異常気象による災害は後をたちません。本市議会においても事前防災が重要であるとの思いから災害時の行動指針を昨年7月に策定し、9月には避難訓練を実施いたしました。

我々議員は、市民の負託に応えるべく、各種研修会への参加や調査研究等を通じて日々研鑽を重ねております。今後、真の地方創生へ挑戦するためにも、各議員の力を結集し、組織としてその力を発揮していくとともに、住民に開かれた議会制度の確立を目指すことで、議会の役割と責任を果たして参りたいと考えております。

結びに、皆様方にとってこの一年がすばらしい年となりますことをお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。